



Title	「日書」研究関連文献目録
Author(s)	工藤, 元男
Citation	中国研究集刊. 2000, 27, p. 1-13
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/61131
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

「日書」研究関連文献目録

工藤元男

序に代えて

1975年末、中国湖北省雲夢県睡虎地で発見された11号秦墓から秦律を主とする法制史料と占書の「日書」が出土してから、折しもちょうど四半世紀が経過した。70年代は秦簡も含めて中国古代の出土文字資料が相次いで出土したエポックメイキングな時代として記憶されている。そのような出土文字資料の出土状況の中で、睡虎地秦簡の出土以後も秦代および先秦の法制史料や「日書」のような宗教関係資料が引き続き出土してことに注目される。とくに「日書」について言えば、1978年、湖北省江陵九店公社磚瓦廠で発見された56号墓出土の「日書」は、年代が戦国晚期早段で、楚系文字で書かれている。秦が南郡を置いたのは、『史記』卷15六国年表によれば秦昭王29年（前278）、すなわち楚頃襄王21年である。したがってこの九店56号東周墓の「日書」は南郡開置直前のものとみなされ、現在のところ最古の「日書」である。それ以前の楚墓の宗教関係副葬品としてはいわゆる「卜筮祭禱簡」があり、江陵望山一号墓、江陵天星觀一号墓、荊門包山二号墓、江陵秦家嘴一号墓・一三号墓・九九号墓から出土している。そのためこの「卜筮祭禱簡」から「日書」への継承関係に関する宗教史的研究、またこのような宗教関係文書を副葬する葬俗に対する社会史的研究は今後いっそう重要になりつつあり、さらにこれまでの秦簡研究に加えて楚簡研究がますます重要な研究課題となるであろう。本稿はこうした「日書」研究の新たな状況を踏まえて、これまでの秦簡「日書」を中心とする「日書」研究を総括し、今後の楚簡「日書」のさらなる出土に備えるために作成したものである。

凡例

一、本稿で取り上げる文献は、戦国～秦漢時代までの「日書」に関する研究論文および専著であり、発掘簡報や発掘報告書およびテキストは取り上げない。

二、本稿はあくまで日本在住の研究者に提供するものなので、そのため排列順番は日本語論文を先にし、その後に漢語論文（名前は漢音順）、最後にそれ以外の言語で書かれたものを排列している。

三、必ずしも「日書」を専論としたものでなくとも、論著の中で「日書」の内容に対して一定の議論を展開しているものについては、取り上げた。

〔一九八〇年〕

曾憲通「楚月名初探—兼談昭固墓竹簡的年代問題」（『中山大學學報—哲社版—』1980年第1期。後に『古文字研究』第5輯、1981、再録）

〔一九八一年〕

平勢隆郎「“楚曆”小考—対《楚月名初探》の管見」（『中山大學學報』1981年第2期）

于豪亮「秦簡《日書》記時記月諸問題」（『雲夢秦簡研究』所収、中華書局、1981。後に『于豪亮學術文存』中華書局、1985、再録）

曾憲通「楚月名初探—兼談昭固墓竹簡的年代問題」（『古文字研究』第5輯、1981）

梅祖麟「古代楚方言中“夕（祭）”字的詞義和語源」（『方言』1981年第3期）

〔一九八二年〕

饒宗頤・曾憲通『雲夢秦簡日書研究』（中文大學出版社、1982）

〔一九八三年〕

饒宗頤「秦簡日書中「夕」（祭）字含義的商榷」（『中國語言學報』1983年第1期）

李學勤「論睡虎地秦簡与馬王堆帛書中的數術書」（Prepared for the ACLS Workshop on Divination and Portent Interpretation in Ancient China, June 20–July 2, 1989, University of California, Berkeley. Robin D. S. Yates, THE LUNAR LODGES (HSIU) IN THE SHUI-HU-TIDIVINATION TEXTS.）

〔一九八五年〕

小南一郎「大地の神話—鯀・禹伝説原始—」（『古史春秋』第2号、1985）

何幼琦「論楚国之曆」（『江漢論壇』1985年第10期）

李学勤「睡虎地秦墓竹簡『日書』与秦・楚社会」（『江漢考古』1985年第4期。同氏著『簡帛佚籍与學術史』時報文化出版企業有限公司、1994、改題再録）

DONALD J. HAPRPER. “A Chinese Demonography of the Third Century B.C.”
Harvard Asian Journal Studies 45, 2(1985)

【一九八六年】

太田幸男「睡虎地秦墓竹簡『日書』にみえる『室』『戸』『同居』について」（『東洋文化研究所紀要』第99冊、1986）

工藤元男「中国古代の占い」（『東書』125、東京書籍、1986）

工藤元男「睡虎地秦墓竹簡『日書』について」（『史滴』第7号、1986。後に『睡虎地新簡よりみた秦代の国家と社会』創文社、1998、改題再録）

林 克「『素問』標本病伝体論の時刻制度」（『漢方研究』9、1986）

饒宗頤「秦簡中の五行説与納音説」（『古文字研究』14、1986。後に『饒宗頤史学論著選』上海古籍出版社、1993、再録）

曾憲通「秦簡日書歲篇疏証」（中山大学中文系主編『古文字学与語言学論集』所収、中山大学出版部、1986、原載前掲『雲夢秦簡日書研究』）

《日書》研読班「日書：秦国社会的一面鏡子」（『中国秦漢史研究会通訊』1986年第3期）

日書講読班「日書：秦国社会的一面鏡子」（『文博』1986年第5期）

林劍鳴（林世景訳）「中国の木簡の出土とその研究の近況」（『史滴』第7号、1986）

林富士「私积睡虎地秦簡中の『癘』与『定殺』」（『史原』第15期、1986）

MARC KALINOWSKI. “LES TRAITES DE SHUIHUDI ET L’HEMEROLOGIE CHINOISE A LA FIN DES ROYAUMES-COMBATTANTS.” *T’oung Pao* LXXNII (1996)

【一九八七年】

- 大櫛敦弘「雲夢秦簡『日書』にみえる困について」(『中国—社会と文化—』2、1987)
- 工藤元男「二十八宿占い(1)—秦簡『日書』割記—」(『史滴』第8号、1987。『睡虎地新簡よりみた秦代の国家と社会』に改題再録)
- 王勝利「《雲夢秦簡日書初探》商榷」(『江漢論壇』1987年第11期)
- 張聞玉「雲夢秦簡《日書》初探」(『江漢論壇』1987年第4期)
- 李曉東・李曉芬「從《日書》看秦人鬼神觀及秦文化特徵」(『歷史研究』1987年第4期)
- 林劍鳴「從秦人的價值觀看秦文化特点」(『歷史研究』1987年第3期)
- 林富士「試釈睡虎地秦簡《日書》中的“夢”」(『食貨』復刊第17卷第3-4期、1987)

【一九八八年】

- 工藤元男「埋もれていた行神—主として秦簡『日書』による—」(『東洋文化研究所紀要』第106冊、1988。『睡虎地新簡よりみた秦代の国家と社会』に改題再録)
- 工藤元男「雲夢睡虎地秦墓竹簡『日書』より見た法と習俗」(『木簡研究』10号、1988)
- 工藤元男「雲夢睡虎地秦墓竹簡『日書』の史料的可能性」(福井重雅代表『東アジア史上の国際関係と文化交流—昭和61・2年度科研費総合研究(A)研究成果報告書—』所収、1988)
- 工藤元男『中国古代文明の謎』(光文社文庫、1988)
- 好並隆司「雲夢秦簡日書小論」(横山英他編『中国社会史の諸相』所収、勁草書房、1988)
- 王桂鈞「《日書》所見早期秦俗發微—信仰・習尚・婚俗及貞節觀」(『文博』1988年第3・4期)
- 王子今「秦簡《日書》交通文化史料研究」(中国秦漢史研究会第4届年会暨學術討論會論文、1988)
- 王勝利「關於楚国曆法的建正問題」(『中国史研究』1988年第2期)

- 王勝利「《雲夢秦簡〈日書〉初探》商榷」(『江漢論壇』1987年第11期)
- 賀潤坤「從雲夢秦簡《日書》看秦國民間的衣食住行」(中國秦漢史研究會第4屆年會暨學術討論會論文、1988)
- 賀潤坤「從《日書》看秦國的穀物種植」(『文博』1988年第3期)
- 吳小強「試論秦人婚姻家庭生育觀念—秦簡《日書》社會學研究」(中國秦漢史研究會第4屆年會暨學術討論會論文、1988)
- 張銘治「秦簡《日書》“建除法”試析」(中國秦漢史研究會第4屆年會暨學術討論會論文、1988)
- 張銘治「雲夢秦簡〈日書〉占卜術初探」(『文博』1988年第3期)
- 潘嘯竜「從《秦楚月名對照表》看屈原的生辰用曆」(『江漢論壇』1988年第2期)
- 楊巨中「《日書·星》積議」(『文博』1988年第3期)
- 林劍鳴「曲徑通幽處高樓望路時—評介當前簡牘《日書》研究狀況」(『文博』1988年第3期)

〔一九八九年〕

- 工藤元男「雲夢睡虎地秦墓竹簡『日書』より見た秦・楚の二十八宿占い—先秦社會における文化の地域性と普遍性をめぐって—」(『古代』第88号、1989。『睡虎地新簡よりみた秦代の國家と社會』に改題再録)
- 酒井忠夫「反閉について—日・中宗教文化交流史に関する一研究」(『立正史學』第66号、1989)
- 成家徹郎(菟嵐訳)「中国古代の占星術和古星盤」(『文博』1989年第6期)
- 賀潤坤「雲夢秦簡所反映的秦國漁獵活動」(『文博』1989年第3期)
- 賀潤坤「從雲夢秦簡《日書》看秦國的六畜飼養」(『文博』1989年第6期)
- 賀潤坤「中國最早的相馬法—雲夢秦簡〈日書·馬〉篇」(『西北農業大學學報』1989年第3期)
- 何双全「天水放馬灘秦簡綜述」(『文物』1989年第2期)
- 何双全「天水放馬灘秦簡甲種《日書》考述」(『秦漢簡牘論文集』所收、甘肅人民出版社、1989)

吳小強「試論秦人婚姻家庭生育觀念—秦簡《日書》社会学研究—」（『中国史研究』1989年第3期）

吳小強「秦人生育意願初探」（『江漢論壇』1989年第11期）

秦簡整理小組「天水放馬灘秦簡甲種《日書》积文」（『秦漢簡牘論文集』所收、甘肅人民出版社、1989）

張銘洽「秦簡《日書》“玄戈”篇解析」（『秦漢史論叢』第4輯所收、西北大学出版社、1989）

〔一九九〇年〕

工藤元男 The CH' in Bamboo Strip Book of Divination (Jih-syu) and CH' in Legalism, *ACTA ASIATICA Bulletin of the Institute of Eastern Culture*, 58 (1990)

工藤元男「雲夢睡虎地秦墓竹簡『日書』と道教的習俗」（『東方宗教』第76号、1990。『睡虎地新簡よりみた秦代の国家と社会』に改題再録）

王子今『中国古代交通文化』（三環出版社、1990）

王勝利「再談楚国曆法的建正問題」（『文物』1990年第3期）

賀潤坤「從雲夢秦簡《日書》看秦国的農業水利等有關狀況」（『江漢考古』1992年第4期）

吳小強「《日書》与秦社会風俗」（『文博』1990年第2期）

吳小強「從秦簡看秦俑的社会內涵」（『文博』1990年第5期）

鄧文寬「比《步天歌》更古老的通俗識星作品—《玄象詩》」（『文物』1990年第3期）

鄧文寬「天水放馬灘秦簡《月建》应名《建除》」（『文物』1990年第9期）

李学勤「放馬灘簡中的志怪故事」（『文物』1990年第4期。後に同氏著『簡帛佚籍与學術史』時報文化出版企業有限公司、1994、改題再録）

劉信芳「秦簡《日書》与『楚辞』類徵」（『江漢考古』1990年第1期）

劉信芳「《天水放馬灘秦簡秦簡綜述》質疑」（『文物』1990年第9期）

〔一九九一年〕

- 大庭脩他「書評 甘肅省文物考古研究所編『秦漢簡牘論文集』」（『史泉』第73号、1991）
- 工藤元男「日書の風景—データベース化による先秦社会の諸相—」（『古代文化』第43巻第8号、1991。『睡虎地新簡よりみた秦代の国家と社会』に改題再録）
- 成家徹郎（王維坤訳）「睡虎地秦簡《日書・玄戈》」（『文博』1991年第3期）
- 賀潤坤「從雲夢秦簡看秦国史治」（中国秦漢史研究会第5屆年會暨國際學術討論會論文、1991）
- 賀潤坤「秦簡研究應与秦簡進一步結合」（『秦陵秦簡研究動態』1991年第1期）
- 賀潤坤「論秦民間闢毆之風与秦律禁止闢毆的歷史作用」（『秦陵秦簡研究動態』1991年第2期）
- 賀潤坤「雲夢秦簡《日書》“寓人”“寄者”“寄人”身份考」（『文博』1991年第3期）
- 吳小強「論秦人宗教思維特徵—雲夢秦簡《日書》的宗教学研究」（中国秦漢史研究会第5屆年會暨國際學術討論會論文、1991）
- 吳小強「從雲夢秦簡看戰国秦代人口再生産類型」（『西北大学学报』1991年第2期）
- 饒宗頤「論天水秦簡中之『中鳴』、『後鳴』与古代以音律配合時刻制度」（中国簡牘学國際學術研討會論文、1991。後に『簡帛研究』第2輯、1996、および『簡牘学研究』第2輯、1997、収録）
- 曾憲通「秦漢時制芻議」・「居延新簡“刑德七舍”疏証（提要）」（中国簡牘学國際學術研討會論文、1991。後、『簡帛研究』第2輯、1996、収録）
- 陳守亭「由『秦俗多禁忌』論漢簡資料中極少日書禁忌問題」（中国簡牘学國際學術研討會論文、1991。後『簡牘學報』第14期、1992、収録）
- 楊巨中（工藤元男訳注）「『日書』より見た秦人の神々の観念とその占いの方法について」（滝口宏編『古代探叢Ⅲ—早稲田大学考古学会創立40周年記念考古学論集—』所収、早稲田大学出版部、1991）
- 李学勤「睡虎地秦簡中的《良山图》」（『文物天地』1991年第4期。後、同氏著『簡帛佚籍与學術史』時報文化出版企業有限公司、1994、改題再録）

李 零「“式”与中国古代的宇宙模式」(『中国文化』1991年第4期)

劉信芳「《日書》四方四維与五行淺說〔提要〕」(中国簡牘学國際學術研討會論文、1991)

劉信芳「雲夢秦簡《日書·馬》篇試釈」(『文博』1991年第4期)

林劍鳴「秦漢簡牘《日書》与官吏〔提要〕」(中国簡牘学國際學術研討會論文、1991)

林劍鳴「秦簡《日書》校補」(『簡牘学報』第13期、1991。後『文博』1992年第1期、収録)

林劍鳴「秦漢政治生活中的神秘主義」(『歷史研究』1991年第4期)

〔一九九二年〕

工藤元男「禹の変容と五祀」(『中国—社会と文化』第7号、1992。『睡虎地新簡よりみた秦代の国家と社会』に改題再録)

工藤元男「雲夢秦簡与《日書》」(『秦漢史論叢』第5輯、法律出版社、1992)

鶴間和幸「古代中華帝国の統一法と地域—秦帝国の法とその虚構性—」(『史朝』新30号、1992)

王維坤「睡虎地秦簡《日書·玄戈》再析」(『陳直先生紀念文集』所収、西北大学出版社、1992)

賀潤坤「從雲夢秦簡《日書》看秦国的林業·桑麻業」(『江漢考古』1992年第4期)

吳小強「論秦人宗教信仰的層次性」(『簡牘学報』第14期、1992)

吳小強「論秦人宗教思維特徵—雲夢秦簡《日書》的宗教学研究」(『江漢考古』1992年第1期)

吳小強「《日書》所見秦人之生死觀」(『秦陵秦俑研究動態』1992年第2期)

吳小強「論秦人的多神崇拜特点—雲夢秦簡《日書》的宗教学研究—」(『文博』1992年第4期)

曾憲通「秦漢時制芻議」(『中山大学学報—社科版—』1992年第4期)

張銘洽「《日書》中的二十八宿問題」(『秦陵秦俑研究動態』1992年第2期)

陳守亭「由〔秦俗多禁忌〕論漢簡資料中極少日書禁忌問題」(『簡牘學報』第14期、1992)

劉樂賢「五行三合局与納音說—讀饒宗頤先生《秦簡中的五行說与納音說》」(『江漢考古』1992年第1期)

劉信芳「秦簡中的楚国《日書》試析」(『文博』1992年第4期)

林劍鳴「秦簡《日書》校補」(『文博』1992年第1期)

〔一九九三年〕

工藤元男「雲夢秦簡「日書」の研究」(平成3・4年度科研費(一般研究C)研究成果報告書、1993)

工藤元男(莫枯訳)「雲夢秦簡《日書》所見法与習俗」(『考古与文物』1993年第5期)

坂出祥伸「災いを避ける歩行術＝禹歩」(同氏著『氣と養生』所収、人文書院、1993)

王子今「雲夢睡虎地秦簡〔日書〕所反映的秦楚交通狀況」(『國際簡牘学会刊』第1号、蘭台出版社、1993)

王子今「睡虎地秦簡《日書》秦楚行忌比較」(『秦文化論叢』第2輯、西北大学出版社、1993)

賀潤坤「雲夢秦簡〔日書・門〕凶初探」(『簡牘學報』第15期、1993)

賀潤坤「從雲夢秦簡看秦的吏治」(『西安石油学院學報—社科版』1993年第1期)

金良年「雲夢秦簡《日書》“畜”篇研究」(『中華文史論叢』51、1993)

吳小強「從〔日書〕看秦人的生与死」(『簡牘學報』第15期、1993)

張銘洽「〔史記·日者列伝〕小察」(『簡牘學報』第15期、1993)

陳守亭「睡虎地秦簡〔日書〕歲星禁忌之研究」(『國際簡牘学会会刊』第1号、蘭台出版社、1993)

鄭剛「論睡虎地秦簡日書的結構特徵」(『中山大學學報—哲社版—』1993年第4期)

蒲慕州「睡虎地秦簡〔日書〕的世界」(『中央研究院歷史語言研究所集刊』第62

本第4分、1993)

李学勤「睡虎地秦簡《日書》盜者章研究」(『慶祝饒宗頤教授七十五歲論文集』所収、香港中文大學中國文化研究所、1993。後、同氏著『簡帛佚籍與學術史』時報文化出版企業有限公司、1994、改題再録)

劉樂賢「睡虎地秦簡日書の内容、性質及相關問題」(『中國社會科學院研究生院學報』1993年第1期)

劉樂賢「睡虎地秦簡《日書》“詰篇”研究」(『考古學報』1993年第4期)

劉樂賢「睡虎地秦簡《日書》“反支篇”及其相關問題」(『簡帛研究』第1輯、法律出版社、1993)

劉信芳「《日書》四方四維與五行淺說」(『考古與文物』1993年第2期)

林劍鳴「《睡》簡與《放》簡《日書》比較研究」(『文博』1993年第5期)

林劍鳴「從放馬灘《日書》(甲種)再論秦文化的特點」(『簡帛研究』第1輯、法律出版社、1993)

〔一九九四年〕

工藤元男「禹歩・天罡」(坂出祥伸責任編集『「道教」の大事典—道教の世界を読む—』所収、新人物往來社、1994)

工藤元男「睡虎地秦簡『日書』における病因論と鬼神の關係について」(『東方正學』第88輯、1994)

王子今「睡虎地秦簡《日書》所見行婦宜忌」(『江漢考古』1994年第2期)

賀潤坤「從雲夢秦簡《日書》看秦民間的災變與救災」(『江漢考古』1994年第2期)

沈頌金「中日兩國學者研究秦簡《日書》述評」(『中國史研究動態』1994年第9期)

劉樂賢『睡虎地秦簡日書研究』(天津出版社、1994)

劉樂賢「睡虎地秦簡日書“玄戈篇”新解」(『文博』1994年第4期)

劉樂賢「睡虎地秦簡日書註釋商榷」(『文物』1994年第10期)

〔一九九五年〕

大形 徹「「鬼」系の病因論—新出土資料を中心として—」(『大阪府立大學紀要

(人文·社会科学)』第43卷、1995)

大川俊隆「雲夢秦簡『日書』「詰篇」初考」(『大阪産業大学論集(人文科学編)』84、1995)

尹在碩「睡虎地秦簡《日書》所見“室”的結構与戦国末期秦の家族類型」(『中国史研究』1995年第3期)

賀潤坤「從雲夢秦簡《日書》的良·忌日看《汜勝之書》的五穀忌日」(『文博』1995年第1期)

賀潤坤「雲夢秦簡《日書》所反映的秦国社会階層」(『江漢考古』1995年第1期)

胡文輝「居延新簡中的《日書》殘文」(『文物』1995年第4期)

張 強「近年來秦簡《日書》研究評介」(『文博』1995年第3期)

劉樂賢「睡虎地秦簡日書“人字篇”研究」(『江漢考古』1995年第1期)

劉樂賢「睡虎地秦簡日書“人字篇”補積」(『江漢考古』1995年第2期)

〔一九九六年〕

工藤元男「曆注占い」(『月刊しにか』1996年7月号)

工藤元男「簡帛資料からみた楚文化圏の鬼神信仰」(『日中文化研究』10、勉誠社、1996)

工藤元男(徐世虹·郝仲平訳)「禹形象的改觀和五祀」(『簡帛研究叢』第1輯、湖南出版社、1996)

賀潤坤「雲夢秦簡《日書》“行”及有關秦人社会活動考」(『江漢考古』1996年第1期)

賀潤坤「從雲夢秦簡〔日書〕看秦民居建築的概況」(『國際簡牘学会會刊』第2号、蘭台出版社、1996)

胡文輝「《日書》起源考—兼談春秋戰国時期的曆法問題」(『簡帛研究』第2輯、1996)

尚民傑「從《日書》看十六時制」(『文博』1998年第2期)

饒宗頤「論天水秦簡中之“中鳴”·“後鳴”与古代以音律配合時制制度」(『簡帛研究』第2輯、1996)

- 張 強「近年来秦簡《日書》研究評介」(『簡帛研究』第2輯、1996)
- 陳松長「帛書《陰陽五行》与秦簡《日書》」(『簡帛研究』第2輯、1996)
- 李解民「秦漢時期的一日十六時制」(『簡帛研究』第2輯、1996)
- 劉樂賢「睡虎地秦簡《日書》中的“往亡”与“昴忌”」(『簡帛研究』第2輯、1996)
- 劉信芳「《日書》驅鬼術發微」(『文博』1996年第4期)

【一九九七年】

- 何双全「漢簡《日書》叢積」(『簡牘学研究』第2輯、甘肅人民出版社、1996)
- 尚民傑「雲夢《日書》与五行学說」(『文博』1997年第2期)
- 饒宗頤「論天水秦簡中之「中鳴」・「後鳴」与古代以音律配合時制制度」(『簡牘学研究』第2輯、甘肅人民出版社、1997)
- 陳 偉「新發表楚簡資料所見的記時制度」(『第三屆國際中国古文字学檢討會論文集』香港中文大學、中国文化研究所、中国語言及文学系、1997)
- 陳 偉「九店楚日書積文校讀与幾個相關問題」(『人文論叢』1997年卷、武漢大學出版社、1997)
- 陳松長「九店楚簡積讀札記」(『第三屆國際中国古文字学檢討會論文集』香港中文大學、中国文化研究所、中国語言及文学系、1997)
- 劉信芳「九店楚簡日書与新簡日書比較研究」(『第三屆國際中国古文字学檢討會論文集』香港中文大學、中国文化研究所、中国語言及文学系、1997)

【一九九八年】

- 工藤元男『睡虎地秦簡よりみた秦代の国家と社会』(創文社、1998)
- 工藤元男「秦簡研究から浮上した禹の行方をめぐって」(『創文』401、1998)
- 高村武幸「九店楚簡日書の性格について—睡虎地日書・放馬灘日書との比較を通じて—」(『明大アジア史論集』第3号、1998)
- 村上陽子「穀物の良日・忌日」(『明大アジア史論集』第3号、1998)

陳 偉「九店楚日書校讀及其相關問題」(『人文論叢』1998年卷、武漢大學出版社、2000)

賀潤坤「從雲夢秦簡看秦社會有關捕盜概況」(『簡帛研究』第3輯、廣西教育出版社、1998)

吳小強「新簡《日書》與秦漢時期的生殖文化」(『簡帛研究』第3輯、廣西教育出版社、1998)

施謝捷「簡帛文字考積札記」(『簡帛研究』第3輯、廣西教育出版社、1998)

尚民傑「雲夢《日書》星宿記日探討」(『文博』1998年第2期)

劉樂賢「九店楚簡日書補積」(『簡帛研究』第3輯、廣西教育出版社、1998)

【一九九九年】

王震亞「甘肅出土的秦漢簡牘」(同氏著『竹木春秋—甘肅秦漢簡牘』(甘肅教育出版社、1999))

【二〇〇〇年】

尚民傑「《日書》“男女日”與“生子”」(『文博』2000年第1期)